

R4やまぐちユニバーサルデザイン大賞応募用紙(活動)

【締切】令和4年11月18日(金曜日) 当日消印有効

| | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|-------|--------------|
| ふりがな 氏名(団体名) ・代表者氏名 | しまかぜざいたくしえんしんりょうじょ しまかぜ在宅支援診療所 | | |
| 住所・所在地 | 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町大字平野271-14 | | |
| ふりがな 担当者氏名 | かわぐちひろし すぎやましげお 川口 寛、 杉山 茂雄 | 電 話 | 0820-78-2533 |
| | | ファックス | 0820-78-2534 |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------|
| 活動(取組)名 | 在宅治療患者向け処方薬品使用時における取扱性の向上 |
| 開始時期 | 昭和・平成・ <input checked="" type="checkbox"/> 令和 4年 9月 ~ |

活動(取組)内容及び成果 (※できるだけ具体的に記載してください。)

在宅診療(医師が患者の自宅などに出向いて行う診療)を受ける患者においては、必要に応じて医師が指定する用法を守りながら、各自、処方薬品の服用・塗布などを行う必要がある。塗布薬品においては、ネジ込み式のキャップの付いたチューブ式の形状(参考写真1:副腎軟膏マイザー)のものが多い。一般の人であれば普通に行える、「キャップを開ける」という行為が、手または腕の運動機能に問題のある患者にとっては大きな負担となる。特に高齢者においては運動機能の低下に伴い、「キャップを掴むことが出来ない」「回すことが出来ない」ことがある。同居家族がいない場合、患者自身では処方薬品を使用することが出来ず、結果として治療が遅れる一因となっていた。対策として処方薬品のキャップを開ける自動具を3Dプリンターで作成し、患者に供与することで取扱性の向上を図った

【事例1】指2本でキャップを掴むことは出来ない患者でも、5本の指を使って物を掴まむことが出来るケースは多い。5本の指を使ってチューブ式の軟膏全体をもって、もう片方の手でキャップオープナー形状1(仮称:参考写真2)を持ち、各薬品専用の切込みにキャップを入れて回しやすい方の手で回すことで安定してキャップを開けることで、自己塗布が出来るようにした。

【事例2】片腕の運動機能が極めて制限される患者でも、壁や台にキャップオープナー形状2(仮称:参考写真4)を予め固定することで腕による固定の代わりとし、もう一方の手で回すことにより安定してキャップを開け自己塗布が出来るようにした。

患者においては、「治療に必要なことが(誰かに頼ることなく気兼ねなく)自分で出来ることは生活の質の向上につながる」などの感想を頂き、大いに満足度を得ることが出来た。今後も現場のニーズをとらえつつ改良を重ねていきたい。

ユニバーサルデザインの観点から工夫している点

各薬品のキャップはそれぞれ独自規格であり統一されていない。キャップオープナーでは、それぞれの規格に合わせた専用の「キャップ用の穴」を用意する。その際、薬品をどの穴に挿し込めばよいのかが分かりやすいように「色付け」して適用箇所を間違えないように工夫した。また3Dプリンターで個別にアイテムを射出するという特性を生かして、患者の運動機能のレベルに応じて、付属の土台の形状を変更し、壁に取り付けが出来るようにしたり、テーブルに取り付けられるようにしたりといった工夫を行った(参考写真3、参考写真4、参考写真5、参考写真6)

■これまでの表彰状況

| | |
|------------------------------------------|-------------------------------|
| 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | (「有」の場合は、表彰名及び表彰年月を記入してください。) |
|------------------------------------------|-------------------------------|

■応募者(推薦者)

| | | | |
|-----------------|-----------------------------------|-------|--------------|
| ふりがな 氏名(団体名) | しまかぜざいたくしえんしんりょうじょ しまかぜ在宅支援診療所 | | |
| 住 所 | 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町大字平野271-14 | | |
| ふりがな 担当者氏名 | かわぐちひろし すぎやましげお 川口 寛、 杉山 茂雄 | 電 話 | 0820-78-2533 |
| | | ファックス | 0820-78-2534 |

※ 取組内容がわかる資料、パンフレット、写真などの関係資料を添付してください。

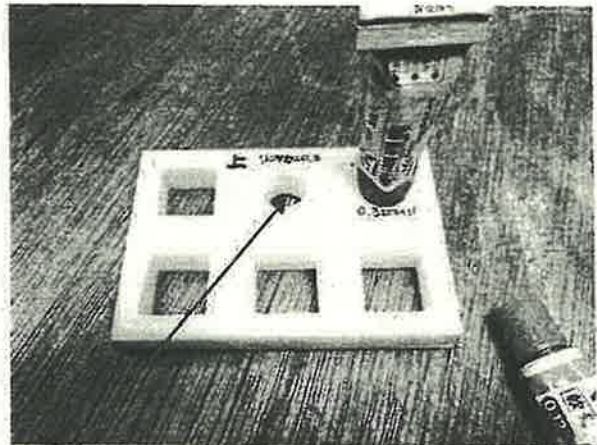
※ 応募用紙の個人情報、本表彰以外の目的では使用しません。

参考写真1:副腎軟膏マイザー



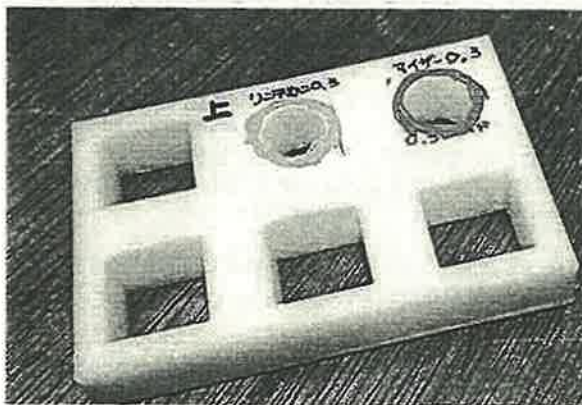
各種軟膏のキャップの形状に共通性がなく、溝のピッチも製品ごとに異なる(溝が無いものもある)

参考写真2:キャップオープナー形状1(仮称)

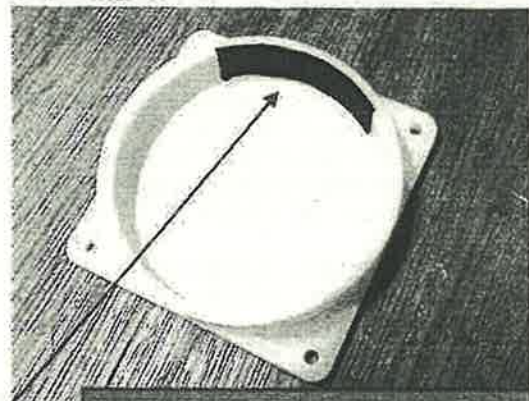


チューブ式軟膏のキャップの大きさや形状(溝のピッチなど)に合わせて挿入口を作成。

参考写真3:色づけ

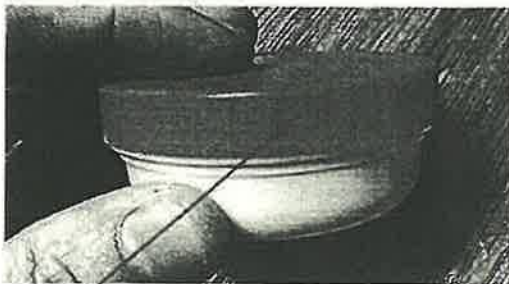


参考写真4:キャップオープナー形状2(仮称)



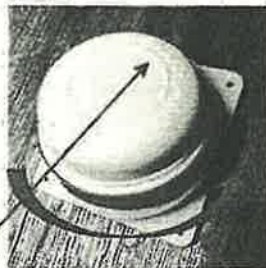
容器蓋の外周に溝が無い場合への対応。スベリ止めゴムに容器の蓋(キャップ)をひっかけて固定。本体容器側を回すことで蓋があく。

参考写真5:軟膏容器

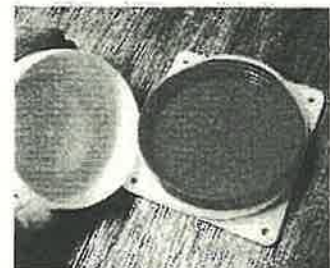


蓋(キャップ)の外周にスベリ止めなし。表面はつるつるしている。

参考写真6:キャップオープナー形状2の利用手順



手順1:ゴムに容器の蓋(キャップ)をひっかけながら容器全体を軽く押し込むと蓋が固定される。



手順2:押し込み方向の力をそのまま維持しながら、蓋(キャップ)を緩める方向(一般的に反時計回りに)、回す。